

歌舞伎座花籠講座 Season 6

2026年1月23日 [金]

14時30分開始（開場13時30分）

歌舞伎座3階 花籠ホール

〈講師〉 観世流シテ方 味方 玄

能役者が語る 鬼の能

野守

力動の鬼 ①

NOMORI



主催／一般社団法人 伝統文化交流協会
後援／古典の日推進委員会
特別協力／歌舞伎座サービス株式会社
ジャボニスム振興会 株式会社能楽書林

歌舞伎座花籠講座 Season 6

能役者が語る鬼の能

講師 観世流シテ方 味方玄

野守

力動の鬼

①

もり

十四世紀から途切ることなく継承され続けている舞台芸術として「ユネスコ無形文化遺産第一号」に指定された能樂（猿樂）は、日本ならではの神仏習合の信仰、もののあわれ、幽玄の美が凝縮された日本文化の根幹ともいえる芸能です。

京都を拠点として活動を広げる能役者・味方玄氏による歌舞伎座花籠講座。今期のテーマは「鬼の能」です。ひとくちに「鬼」といつても、その姿・存在・心根はまことに多彩。世阿弥が「勢形心鬼」と表現した力動風、「形鬼心人」と表した碎動風、それぞれの鬼の正体を、演者ならではの視点から紐解いてまいります。

新シリーズ初回は、「力動の鬼①」と題して『野守』を取り上げます。古歌にも詠まれた奈良・春日野に伝わる「はし鷹の野守の鏡」伝説をベースに世阿弥が描き上げた、春日の地を守る鬼神の神徳、大和の麗しい春景色。鬼神が手にする「野守の鏡」に天界から地獄までを映して見せる壮大なスケール感を、実際の謡や所作などを交えながら存分に語つていただきます。



味方 玄 (みかた しづか) 観世流能役者

1966年、京都生まれ。能樂師味方健の長男。幼少より父に手ほどきを受け、1986年、故片山幽雪（人間国宝）に内弟子入門。幽雪（九世九郎右衛門）、十世九郎右衛門に師事。1991年、独立。2001年「京都市芸術新人賞」受賞。2002年、KBS京都テレビにて能樂入門番組「能三昧」（全28回）を監修・出演。2003年、新作能「待月（つきまち）」の脚本を手がけ、シテを演じる。2004年「京都府文化賞奨励賞」受賞。2011年、重要無形文化財（総合）認定。2018年、興福寺・中金堂落慶法要にて「菊慈童」奉納。京都・東京における個人主催の会「アドル・ノウ」を始め、数多くの演能と能樂の普及活動、企画・演出・プロデュースもこなし、国内外を問わず幅広く活動を続ける。著書『能へのいざない』（淡交社刊）。2022年度「第44回観世寿夫記念法政大学能樂賞」、2023年度「第42回京都府文化賞功労賞」受賞。

2026年1月23日(金)14:00開始 開場13:30 / 終了15:30頃
歌舞伎座三階 花籠ホール

参加費：4,000円 / 青少年 1,000円（※満12才～26才未満の方 / 学生証提示）

【参加申込み】[Tpac 伝統文化交流協会]

■HP：<https://www.tpac.info/events/detail/id=866&state=off>

◎その他のお問合せは、ホームページまたはメールにてお願ひいたします
(お問合せ専用) E-mail : tpacdentobunka@gmail.com



※当日、歌舞伎座正面玄関からの入場はできません

【地下鉄から】

東銀座駅から直結、歌舞伎座B2「木挽町広場」内をセブンイレブンに向かって進み、突きあたり左手奥のエレベーターで3階へ。

【地上から】

昭和通り沿いの、歌舞伎座タワー「昭和通り口」（松石ビルの隣）を入りエレベーターで3階へ。

歌舞伎座花籠講座について

19世紀中頃からヨーロッパで起きた浮世絵などの日本文化ブームは、西洋の文化芸術に多大な影響を与えました。その魅力は物質的なものというより、むしろ精神にありました。日本の伝統芸能のシンボル・歌舞伎座の一角で開校した【歌舞伎座花籠講座】で、日本文化が伝えるその精神に触れてみてください。

